



冬色菊歌集



下

特別
イ 4
3163
46(2)

類
號
冊



頁
14
3163
46(2)



冬を為る集下

冬を為る集下の冬初雪

わさよふかきわあまははつゆの初雪あつらんちり

雪

いふちちるにちりちりちりちりちりちりちりちりちり

朝霞

朝霞あつちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

待雪

待雪あつちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

よりのやのや 神石に

ゆちちりおちあつたて 大波の上には花をあつた
ふたふたのつたて ちかぢのつたてのつたて
ある時の幸をおちあつた

ふたふたのつたて 冠のつたてのつたて
向嶋のはつたてのつたて

秋まつりのつたてのつたて 一入酒のつたてのつたて
植松茂島にまつたてのつたて

まつたてのつたてのつたて
まつたてのつたてのつたて

八年のえりく

まつたてのつたてのつたて

四月おまつたてのつたて 正義のつたてのつたて
に名古をたあつたてのつたて
あつたてのつたてのつたて
まつたてのつたてのつたて
まつたてのつたてのつたて
まつたてのつたてのつたて

まつたてのつたてのつたて
七月のまつたてのつたて 陸奥にまつたて

わらわのしるしはなほいかにあはれむとておぼしむるに
なほいかにあはれむとておぼしむるに

あはれむとておぼしむるに

あはれむとておぼしむるに

初夜のしら

柏木のうらみはなほいかにあはれむとておぼしむるに

夏朝

あはれむとておぼしむるに

水

あはれむとておぼしむるに

熊谷直實の平敷巻をたのむるに

あはれむとておぼしむるに

楠らの園

あはれむとておぼしむるに

詠上月

あはれむとておぼしむるに

舟中月

あはれむとておぼしむるに

画讚

あはれむとておぼしむるに

あはれむとておぼしむるに

あはたるふ垣をうけし朝顔のあきまはなをさるる
初鴈

うきまはなをさるる
雁

わづらひたきそよまのうらむらたあきまはなをさるる
田家月

うきまはなをさるる
田中の杜はむらたあきまはなをさるる
ちりちりの小田きりさるるのうらむらたあきまはなをさるる

うきまはなをさるる
松間月

堂

うきまはなをさるる
水上月

うきまはなをさるる
野月

うきまはなをさるる
月あきま

うきまはなをさるる
田霧

本乃と日とをえはそそ林の目けは霞の籠もわたらのあ

秋雨

あつたさ少雨になりて朝あつたあつたあつたあつたあ

鈴屋のあまふれ合に秋物也

けつと昔におもひつゝし林のさうあつたあつたあ

露中橋

しつと夕にさあつたあつたあつたあつたあつたあ

夜書

はつとあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ

羈旅

たつとあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ

谷落花

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ

雨中花

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ

蒸気船

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ

あつたあ

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ

海

おとしのたにまかちたふくはのさるるちあふ
花

うらみはのふくさうらみはのふくさうらみはのふくさ
もる月

うらみはのふくさうらみはのふくさうらみはのふくさ
羈中花

東路はこまありてまふくさうらみはのふくさ
垣山吹

おとしのたにまかちたふくはのさるるちあふ
風前花

おとしのたにまかちたふくはのさるるちあふ

水色藻

おとしのたにまかちたふくはのさるるちあふ

おとしのたにまかちたふくはのさるるちあふ

社頭新樹

おとしのたにまかちたふくはのさるるちあふ

とよりの十年の若葉にあふる可わ

おとしのたにまかちたふくはのさるるちあふ

おとしのたにまかちたふくはのさるるちあふ

おとしのたにまかちたふくはのさるるちあふ

まき梅のいさぎよき花のうらみはなほあはれなるを思ふ

思弦妓

いさぎよき花のうらみはなほあはれなるを思ふ

初恋

あまのこころはかたむねのこころをいふ

手紙

あまのこころはかたむねのこころをいふ

師木島道

あまのこころはかたむねのこころをいふ

あまのこころはかたむねのこころをいふ

雨中桂

あまのこころはかたむねのこころをいふ

深山花

あまのこころはかたむねのこころをいふ

花のうらみ

あまのこころはかたむねのこころをいふ

あまのこころはかたむねのこころをいふ

花のうらみ

あまのこころはかたむねのこころをいふ

同春の恋

て 遠山雪 林某者尾法國某の井郡の人のその

の 枯雪の原に於て 遠山雪 林某者尾法國某の井郡の人のその

の 枯雪の原に於て 遠山雪 林某者尾法國某の井郡の人のその

の 枯雪の原に於て 遠山雪 林某者尾法國某の井郡の人のその

の 枯雪の原に於て 遠山雪 林某者尾法國某の井郡の人のその

里をばあめ早の村に 遠山雪 林某者尾法國某の井郡の人のその

うらやまの心は木の葉の如くはなれぬとて思ふ

梅遠景

木の葉の如くはなれぬとて思ふ

柳

さくらさくらおんなはなはさかしの

花の如くはなれぬとて思ふ

さくらさくらおんなはなはさかしの

老人結末

おんなの心は木の葉の如くはなれぬとて思ふ

十二年の昔も思ふはなれぬとて思ふ

よきよき花の如くはなれぬとて思ふ

よきよき花の如くはなれぬとて思ふ

よきよき花の如くはなれぬとて思ふ

よきよき花の如くはなれぬとて思ふ

よきよき花の如くはなれぬとて思ふ

よきよき花の如くはなれぬとて思ふ

よきよき花の如くはなれぬとて思ふ

よきよき花の如くはなれぬとて思ふ

よきよき花の如くはなれぬとて思ふ

よきよき花の如くはなれぬとて思ふ

いんぎんにあらはれしうらなはるるあはれなはち

らるるあはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

あはれなはち

古戦場

ふらふらゆき雪のうらみは
おまき田

おまき田の月夜おまき田の
野外萩

のよき田のうらみは
残暑

枯れ草おまき田の
屋上霜

おまき田のうらみは

國産のうらみは

おまき田のうらみは
十二年元の暁

おまき田のうらみは
吹原重演の廿七回忌の寄書懐舊

おまき田のうらみは
おまき田

おまき田のうらみは
朝雪

おまき田のうらみは



初志

~~~~~

岡居梅

~~~~~

新枕

~~~~~

岸

~~~~~

伊东祐兵衛

~~~~~

杖よりたれはなほくさくさのつらきにたゆまぬ  
~~~~~

葵

~~~~~

日光

~~~~~

山居冬島

~~~~~

ねまの

~~~~~

~~~~~





おあつらひの草の折る月

そらふのうしき

上野のうしき

松本藩のうしき

あつらひのうしき

あつらひのうしき

あつらひ

あつらひのうしき

あつらひ

あつらひのうしき

あつらひのうしき

あつらひのうしき

あつらひ

あつらひのうしき

あつらひ

あつらひのうしき

あつらひ

あつらひのうしき

あつらひ

あつらひのうしき





庭におとふかゝるる松の影のむらさき  
庭の松の影のむらさき

鴨川

なまなまの川に流るる水は清く  
なまなまの川に流るる水は清く

竹風松原

まなまの川に流るる水は清く  
まなまの川に流るる水は清く

坂本大

なまなまの川に流るる水は清く  
なまなまの川に流るる水は清く

なまなまの川に流るる水は清く  
なまなまの川に流るる水は清く

石水

なまなまの川に流るる水は清く  
なまなまの川に流るる水は清く

泉

なまなまの川に流るる水は清く  
なまなまの川に流るる水は清く

細流

なまなまの川に流るる水は清く  
なまなまの川に流るる水は清く

水色細流

なまなまの川に流るる水は清く  
なまなまの川に流るる水は清く

蓮

なまなまの川に流るる水は清く  
なまなまの川に流るる水は清く

なまなまの川に流るる水は清く  
なまなまの川に流るる水は清く

なまなまの川に流るる水は清く  
なまなまの川に流るる水は清く



Handwritten text in cursive script, top line.

Handwritten text in cursive script, middle line.

Handwritten text in cursive script, bottom line.

Handwritten text in cursive script, small note.

Handwritten text in cursive script, top line.

Handwritten text in cursive script, middle line.

Handwritten text in cursive script, bottom line.

Handwritten text in cursive script, small note.

Handwritten text in cursive script, top line.

Handwritten text in cursive script, middle line.

Handwritten text in cursive script, top line.

Handwritten text in cursive script, middle line.

Handwritten text in cursive script, bottom line.

Handwritten text in cursive script, top line.

Handwritten text in cursive script, middle line.

Handwritten text in cursive script, bottom line.

Handwritten text in cursive script, small note.

Handwritten text in cursive script, top line.

Handwritten text in cursive script, middle line.

Handwritten text in cursive script, bottom line.

揚衣

Handwritten cursive text, first line.

扇

Handwritten cursive text, second line.

待遊

Handwritten cursive text, third line.

秋荷

Handwritten cursive text, fourth line.

Handwritten cursive text, fifth line.

Handwritten cursive text, sixth line.

Handwritten cursive header.

Handwritten cursive text, seventh line.

Handwritten cursive text, eighth line.

Handwritten cursive text, ninth line.

Handwritten cursive text, tenth line.

Handwritten cursive header.

Handwritten cursive text, eleventh line.

Handwritten cursive text, twelfth line.

Handwritten cursive text, thirteenth line.

Handwritten text in cursive script, first line on the left page.

心家お

Handwritten text in cursive script, second line on the left page.

後

Handwritten text in cursive script, third line on the left page.

十五年一月一日

Handwritten text in cursive script, fourth line on the left page.

凡あはれ

Handwritten text in cursive script, fifth line on the left page.

あ

Handwritten text in cursive script, first line on the right page.

は

Handwritten text in cursive script, second line on the right page.

Handwritten text in cursive script, third line on the right page.

Handwritten text in cursive script, fourth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, fifth line on the right page.

あ

Handwritten text in cursive script, sixth line on the right page.

あ

Handwritten text in cursive script, seventh line on the right page.



海邊霞

~~~~~

夕暮

~~~~~

野鷺

~~~~~

幼虫

~~~~~

~~~~~

鳩鶴

~~~~~

~~~~~

梅花久萎

~~~~~

寄書

~~~~~

故郷

~~~~~

題名

~~~~~

不言花

あはれなる花のうらみはなほさかすまのうらみはなほさかすま

名之花

あはれなる花のうらみはなほさかすまのうらみはなほさかすま

あはれ花

あはれなる花のうらみはなほさかすまのうらみはなほさかすま

松花

あはれなる花のうらみはなほさかすまのうらみはなほさかすま

あはれ花

あはれなる花のうらみはなほさかすまのうらみはなほさかすま

月前花

あはれなる花のうらみはなほさかすまのうらみはなほさかすま

朝花

あはれなる花のうらみはなほさかすまのうらみはなほさかすま

は

あはれなる花のうらみはなほさかすまのうらみはなほさかすま

川崎の席のうらみはなほさかすまのうらみはなほさかすま

あはれなる花のうらみはなほさかすまのうらみはなほさかすま

あはれなる花のうらみはなほさかすまのうらみはなほさかすま

都花

花のうしろに花をたたく。くわんちんをうたふ。しんじゆ

雨申花

花のうしろに花をたたく。くわんちんをうたふ。しんじゆ
くわんちんをうたふ。しんじゆ

社頭花

社頭花をうたふ。しんじゆ

花心花

花心のうしろに花をたたく。くわんちんをうたふ。しんじゆ

花心

花心のうしろに花をたたく。くわんちんをうたふ。しんじゆ

旅泊

旅泊のうしろに花をたたく。くわんちんをうたふ。しんじゆ

藤

藤のうしろに花をたたく。くわんちんをうたふ。しんじゆ

水色花

水色のうしろに花をたたく。くわんちんをうたふ。しんじゆ

藤

藤のうしろに花をたたく。くわんちんをうたふ。しんじゆ

暮春

まじりたるものこそよきものなりとて

友の如く

とてよきはるかにあはれなるものなりとて

新橋

権園とわらわのりやうに思ふものおはたか

高崎高当座兩餘生晚涼

夕と暮なるもあはれなるものなりとて

目竹徑通幽處

たけのこはあはれなるものなりとて

持川

うらやまはあはれなるものなりとて

大崎かき母の

あはれなるものなりとて

あはれなるものなりとて

待窓

あはれなるものなりとて

はるかにあはれなるものなりとて

あはれなるものなりとて

あはれなるものなりとて

あはれなるものなりとて

五月雨久

雨の降りしつゝ
田舎の風景
静かに見ゆ

田舎の風景
静かに見ゆ
雨の降りしつゝ
田舎の風景
静かに見ゆ

早秋露
朝の涼しき
露の降りしつゝ
早秋露
朝の涼しき

早秋露
朝の涼しき
露の降りしつゝ
早秋露
朝の涼しき

次原書又のてん

次原書又のてん
朝の涼しき
露の降りしつゝ
次原書又のてん
朝の涼しき

曉虫

曉虫
朝の涼しき
露の降りしつゝ
曉虫
朝の涼しき

田家

田家
朝の涼しき
露の降りしつゝ
田家
朝の涼しき

わつしあまたにありしをいさむる障をいさむるの心
胡顔

あつしあまたにありしをいさむる障をいさむるの心

九月十九日あす都をなす

に書ひおくる大のり

かろい海の家よあ

あつしあまたにありしをいさむる障をいさむるの心

又書ひおくる

あつしあまたにありしをいさむる障をいさむるの心

あつしあまたにありしをいさむる障をいさむるの心

あつしあまたにありしをいさむる障をいさむるの心

八月廿九日あす都をなす

に書ひおくる大のり

あつしあまたにありしをいさむる障をいさむるの心

九月十七日あす都をなす

に書ひおくる大のり

あつしあまたにありしをいさむる障をいさむるの心

あつしあまたにありしをいさむる障をいさむるの心

あつしあまたにありしをいさむる障をいさむるの心

あつしあまたにありしをいさむる障をいさむるの心

この海をいざなふたまはと見させたまふは地ふた

十一月十日終る境のあまふりて

下か夜のもよみあまふりて自にたふすもかたし
くれはあまふりてあまふりてあまふりてあまふりて

全園寺にたふす

よむたふすもあまふりてあまふりてあまふりて
葉面よむたふす

あまふりてあまふりてあまふりてあまふりて
あまふりてあまふりてあまふりてあまふりて
あまふりてあまふりてあまふりてあまふりて

あまふりてあまふりてあまふりてあまふりて
あまふりてあまふりてあまふりてあまふりて

あまふりてあまふりてあまふりてあまふりて
あまふりてあまふりてあまふりてあまふりて

あまふりてあまふりてあまふりてあまふりて
あまふりてあまふりてあまふりてあまふりて

あまふりて

あまふりてあまふりてあまふりてあまふりて
あまふりてあまふりてあまふりてあまふりて
あまふりてあまふりてあまふりてあまふりて

was in a

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world in the world in the world in the world

the way of the world

皇居を下りて東へ福川の品にそ
うよく飲ませりておぼいなるを
御籠

金指環水晶指環

ちよとの子代をかうしおめいなるを
埋木茶卓

よもぎの葉をわたりしはの葉の
銘表お織の紐

かきくもひんあふふの葉を
赤らへ形湯谷

けいふとふさふさとし東路の老梅を
回安宅

おんまことなるふりたるたの
回點

ちよとひゆの旗をたむけし
公狸

はひらこたちよあのみたははの
御籠

ちよとひゆの旗をたむけし
春旅

日暮の光をたのむらん
あはれなる人ぞもよほす

待鷺

つゆもたれぬあはれなる人ぞもよほす

海邊雪

おぼろげなる雪のまじりて
あはれなる人ぞもよほす

あはれなる人ぞもよほす

あはれなる人ぞもよほす

あはれなる人ぞもよほす

あはれなる人ぞもよほす

あはれなる人ぞもよほす

あはれなる人ぞもよほす

舟

あはれなる人ぞもよほす

秋夕

あはれなる人ぞもよほす

あはれなる人ぞもよほす

あはれなる人ぞもよほす

あはれなる人ぞもよほす

あはれなる人ぞもよほす

あはれなる人ぞもよほす

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, starting with a large initial letter.

Handwritten text, possibly a signature or a specific name.

Handwritten text in cursive script, continuing the letter or document.

Handwritten text in cursive script, starting with a large initial letter.

Handwritten text in cursive script, starting with a large initial letter.

Handwritten text in cursive script, starting with a large initial letter.

Handwritten text in cursive script, starting with a large initial letter.

Handwritten text, possibly a signature or a specific name.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or journal entry, covering the left page.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or journal entry, covering the right page.

温泉

くすのぼろなるしきふくえいふいふあふらふのさかしくい

閏中月

つゝもよそくきつひもむねのさかしくいふのさかしくい

満月

あめが下にもふくえいふいふあふらふのさかしくい

初雁

きかぬあきなるしきふくえいふいふあふらふのさかしくい

老恋

あめが下にもふくえいふいふあふらふのさかしくい

暮秋

かろあき十日けつりの秋の短くもたつたあふらふのさかしくい

初冬霜

ふれよのよきまの末の初霜をかきかきかきかきかきかきかき

湖冬月

はつひの山なるしきふくえいふいふあふらふのさかしくい

山家煙

あめが下にもふくえいふいふあふらふのさかしくい

古の雪

あめが下にもふくえいふいふあふらふのさかしくい

あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを

雲南 彼得銅像のこころを長歌

あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを

あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを

二十三年九月のまゝのこころを

二十三年九月のまゝのこころを

二十三年九月のまゝのこころを

あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを
あはれなるまゝのこころを

秋を待つるはしの朝の光を待つる
ちかむる

秋を待つるはしの朝の光を待つる
弟を待つる

秋を待つるはしの朝の光を待つる
仲を待つる

秋を待つるはしの朝の光を待つる
member

秋を待つるはしの朝の光を待つる
member

秋を待つるはしの朝の光を待つる
member

秋を待つるはしの朝の光を待つる
member

秋を待つるはしの朝の光を待つる
member

秋を待つるはしの朝の光を待つる
member

U

明治四十三年九月二十五日印刷
全 年九月三十日發行

編輯者
發行所

間島弟彦
東京府下住原郡八戸村
宮新井宿二千八百十五番地

印刷者

合資會社 吉川弘文館
代表者 林縫之助
東京市京橋區西船場
一丁目十三番地

印刷所

竹平吉藏
東京市京橋區西船場



